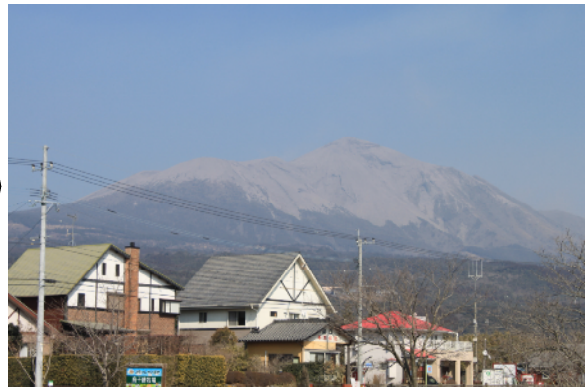


新燃岳の治山事業 (都城森林管理支署、鹿児島森林管理署管内)

霧島山(新燃岳)では、平成23年1月26日の中規模程度の噴火、その後の継続する噴火により現地に相当程度の降灰が確認されることから、土石流の発生の危険性が高い溪流において、下流域の保全及び緊急対策工事における安全確保を図るための土石流センサー設置、既存治山施設の機能向上対策(堆積土砂の除去等)の実施や降灰の影響により既存崩壊地の拡大が懸念される箇所について保全工事を実施しています。

噴煙を上げる新燃岳



降灰の状況

土石流センサーの設置



土石流センサーは、土石流の流下によりワイヤーが切断された際に発生する信号を検知し、下流の住民の警戒避難対策や工事現場の安全管理に資するものです。丸谷川、荒川内川、荒襲川の3箇所を設置しています。

排土工事の実施

治山ダムの上流に堆積した土砂を取り除き、集中豪雨等により新たに流下してくる火山灰を補足するものです。堆積した土砂約20,000m³を取り除く工事を実施しました。



排土した状況



排土した空間に流下土砂を捕捉した状況

治山ダムの施工



都城市の丸谷川流域に完成した治山ダム

平成23年度は、荒廃の著しい高千穂峰の南側斜面の都城地区において治山ダム等の工事を11箇所、新燃岳西側斜面の鹿児島県霧島市において治山ダムの工事を3箇所施工しました。

